

研究課題名	妊娠前の肥満度と周産期合併症との関係に関する検討
研究の意義・目的	妊娠前に肥満であることは、妊娠糖尿病、妊娠高血圧症候群、胎児発育障害を発症しやすいといわれています。妊娠糖尿病など耐糖能異常合併のリスクは普通体重の妊婦と比較して1度肥満の妊婦で約2.9倍、2度肥満以上で約6.6倍と肥満度が強くなるに従いリスクが高くなることが報告されています。これまでは肥満群と非肥満群のみに分類した研究報告が多く、肥満度の程度による分類を行った上で周産期リスクを評価した国内の研究はほとんど報告されておらず、本研究では当院で分娩となった妊婦を対象に肥満妊婦を1度肥満、2度肥満、3度肥満、4度肥満に分類し、非肥満の妊婦と比較して肥満度ごとに周産期リスクを評価することにより、妊娠前の体型が周産期予後に対して及ぼす影響を明らかにすることを目的としています。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2025 年 12 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2020 年 1 月~2024 年 4 月に大阪公立大学医学部附属病院の女性診療科で分娩となった方が対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 <ul style="list-style-type: none">・患者基本情報：年齢、性別、診断名、病歴、妊娠回数、出産回数・身体所見：身長、妊娠前体重、分娩時体重、妊娠中体重増加・周産期事象：分娩方法、分娩週数、児の性別、出生体重、身長、頭囲、胸囲、Apgar score
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科女性生涯医学のみで行います。 【研究責任者】三枚卓也
本研究の 利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。未成年者の方では、保護者さま等からの研究不参加のお申し出やお問い合わせに対してもご対応いたします。
連絡先	大阪公立大学医学部附属病院 女性診療科 担当者氏名：三枚 卓也 電話番号：(06) 6645-3862 メールアドレス：t-misugi@omu.ac.jp